

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 5月 7日公開
ゴラン高原より、ツアーのみなさんと
(日本時間 2018年5月7日 21:00~)

.....

では皆さん、もう一度ゴラン高原の頂上から、シャローム！私たちはまさに、シリアから3マイル（4.8 km）の距離にいます。ここは穏やかで、実際のところ私たちは、何か起こらないかと期待していますよね？（笑）なぜ私がこんなことを言うかといえば、私は夜中の一時からずっと起きていて、残念ながら、私のところに非常にたくさんのメッセージが届いて、「戦争が始まったのか？」と聞くのです。だから私は目を覚まして、ここで戦争が起こっているなら、私も知っておかねばなりませんから。すると、明らかにペテン師たちです。インターネットで、聖書を教えるべき人たちが「戦争が始まった」と報道したのです。彼らは、イランがイスラエルを攻撃している、と報じていました。私はそれに凄く腹が立って、もう眠れなくなったのです。ここがどれほど平穏であるか、私はよく知っていますから。繰り返しますが、ここにいる私たち全員にとって、唯一の危険は食べ過ぎる事です！（笑）皆さん、それはご存知ですよね？皆さん、ここは非常に穏やかです。ただ、反対側では、機嫌を損ねている人がたくさんいることは認めます。

では、起こった事について説明しましょう。私たちはこれまでもずっと言って来ましたが、イランがシリア国内に地位を確立させていて、彼らはアフガニスタン人、パキスタン人、イラク人、その他からシーア派民兵を採用し、ここで飛び交う大砲や銃弾に晒しているのです。そして彼らは、彼らの命令によって活動する、2万人近くから成る民間の部隊を結成しました。皆さん、理解しておいてください。これら、アフガン人やパキスタン人、イラク人たちの誰一人として、強靱な超プロフェッショナル兵士ではありません。彼らは、ただ良い暮らしを求めている人たちです。戦争が終わった後に、いくらかの小遣いや、少しの土地を約束されて、ここに来て戦っているのです。イランは、自分たちのトップ司令官だけを送り込んでいます。全てをまとめるための高官や将軍だけです。イスラエルはこの1年半の間、この行程を見張り、全世界に言い続けて来ました。

「我々は、イランには、ここシリアでの地位を確立させない」

と。ヴラディミール・プーチンにも、アメリカの政権にも、ヨーロッパにも、シリア政権にも、ずっと伝えて来ました。イランがここから1500マイル（2400 km）離れた場所で、イスラエルに敵対して策を練るのと、ここから3マイル（4.8 km）離れた所で、イスラエルに敵対して策を練るのとは、別問題です。そこでイスラエルが決断したのは、一方でイランの核計画の仮面を剥ぎ、暴露し晒すこと、しかしもう一方はそんな穏やかな事ではありません。彼らの、ここでの地位の確立に対する我々の戦いは、毎週、毎日、毎時間起こるようになり、優しいやり方ではないでしょう。イスラエルはこの数週間、ここシリアにあるイランの標的を狙っています。特記すべき大きな攻撃の一つに、先週我々は、いくつかのロケット発射台と、200~300発のロケットをその場で破壊しました。彼らは、我々に仕返すためにこれらを備えていたのです。覚えていますか？4月中旬の化学兵器攻撃の直後に、イスラエルがパルミラ近くのT-4空軍基地を攻撃しました。その時我々は、シリア国内の一つの空軍基地内に多数ある格納庫の内、基本的には1つの格納庫を破壊しました。その格納庫の中にはイランが——彼らが開発中であった、ドローンの機密計画を置いていたのです。今からカメラの向きを変えて、皆さんにはこちら側に移動してもらいます。カメラをこちらに向けますから、皆さんは私の後ろに立ってください。そうすれば、そちらからもシリアをご覧いただけるでしょう。太陽の位置も、ずいぶん良くなりましたから。



シリアを背景に

さて皆さん、その後何が起こったかというと、化学兵器攻撃の翌日、イスラエルは攻撃し、ドローン開発のためのイランの機密計画を破壊しました。我々はその場所や、誰がそこを運営しているのか、何となく知っていて、格納庫を破壊しただけでなく、その場でイラン革命防衛隊の高官トップ11人ほどを殺害したのです。イランは、それに対して報復し復讐することを誓い、計画し始めました。そして、アメリカとヨーロッパが、3棟の空っぽの建物を攻撃した瞬間から、イリュージョン貨物機がテヘランから、はるばるシリアの北西部にあるハマー空軍基地を行き来していることに、我々は気付きました。それから皆さん、我々は、彼らが過剰に飛行しているだけでなく、そこにロケットを降ろしていたことにも気付いたのです。射程距離100マイル(160km)のものや、200マイル(320km)のものです。彼らは、慎重に作戦に備えていました。ところで、彼らはイランから目を逸らさせるために、自分たちが作り出した地元のシーア派民兵を非難しました。分かりますか？彼らは、民兵を作り出して、民兵たちにロケットを与え、民兵たちがロケットを発射するのを助けるために、自分たちの高官を送り込み、そして自分たちは逃げ出して、世界には「民兵たちがやったことだ」と言っているのです。それが彼らの戦略です。イスラエルは、それがそろそろ起こるだろうと気づき、先週、これらのロケットをその場で攻撃しました。そして昨夜、イスラエル政府は公に発表し、全世界に伝える事に決めたのです。

我々は、イランが何を企んでいるのか、彼らが近々何をしようとしているのかを知っていること、それから、我々が全てを探知したことも全世界に伝え、そして言いました。

「イランは慎重になるべきだ。」

彼らは、自分たちが関与していないように上手く見せているつもりでいますが、この全貌の裏側で彼らが操っている事を、我々は知っていますから。

そこで昨夜の時点で、イスラエルの全ニュース番組が、一斉に報道しました。

「イランが、イスラエル北部にあるイスラエルの標的に向けて、ロケットを発射しようとしており、シリアからの攻撃が切迫している。」

これが、昨夜のニュースの始まりです。

これが面白い事に、イスラエル人はパニックには陥っていないのです。

我々は、“ビッグブラザー”や他のものも観ますが、私たちは何の予定もキャンセルしたりしません。実際、皆さんは怪しげな軍の動きを何か目にされましたか？

(ツアー客たち) ——NO!

バスの中で聞いた、私の音響効果以外に？(笑)

皆さん、あまりにも多くのペテンが、インターネット上で始まり、戦争が始まった、イスラエルが動き始めた、と伝えていますが、

NO!NO!NO!

イスラエルは安心、安全で、我々は意図的に外に出て来て、

「これがイランの策略だ！」

と世に伝えているのです。

イランに恥をかかせ、彼らに計画を考え直させるために。

昨夜起こった、もう一つの重要な事は、昨日一日中、レバノンで選挙がありました。そして昨夜、それが終わりました。イランは、選挙を妨害して、ヒズボラが議会の過半数票を獲得し損ねるのを恐れたため、彼らはしばらく待ちました。

それから、数日後にはトランプ大統領が、イランとの協議に留まるのか、そこから撤退するのかを決断します。

イランはすでに、

「アメリカが撤退するのなら、大きく後悔するだろう。」

と脅迫しています。

フランスは言っています。

「アメリカが撤退するのなら、戦争になる可能性がある。」

国連は言います。

「アメリカが撤退すると、戦争が起こるかも知れない。」

何度も聞いたことのあるセリフですね？

皆さん、我々が目にしているのは、イランが混乱している様子で、さらに言えば、彼らはこれまでなかったほどに弱っています。

そこで、今こそチャンスなのです。彼らは爆弾を計画しているという、すでに伝えられた情報を基に協議を修正して、イエメン、イラク、レバノン、シリアから、彼ら軍隊の全てを撤退するように、彼らに新しい命令を課すか、もしくは否定して、完全に取り消すかです。ヨーロッパはイランに何十億ドルという資金を投資しており、彼らはその投資を失いたくないため、アメリカに協議に残るよう押しています。

また、イスラエルは非常に明確にしています。ネタニヤフは数日前、イランの核兵器計画の最も聖なる部分を暴露し、これ以上は出来ないというほど明確にしました。

ここで、この大混乱の別の層に移りましょう。後ほど、これら全ての点と点を、聖書的に繋げて行きます。ネタニヤフは今日、イスラエルを発ちます。ちなみに、戦争が起こっていれば、首相は国を離れませんか？彼は、キプロスのニコシアで、ギリシャとキプロスと共に、イスラエルの天然ガスを海底から掘削し、ヨーロッパへと届けるパイプを共同で儲けることについて協議します。



地中海におけるキプロスの位置



ニコシアの位置



イスラエル・ギリシャ・キプロス首脳会談

これが何を意味するか、分かりますか？つまりこれは、ロシアの競合が現れる、ということです。良いですか？聖書には、ロシュが来る時、顎に鉤がかけられると告げています。

顎にかけられた鉤とは、明らかに我々が地中海に発見した石油とガスです。ちなみに、ロシアはそれを隠しめせず、彼らがシリアにいるのはそれが最大の目的である、と言っています。ただ、皆さんにさらに理解してほしいのは、現在のイスラエルは強く、非常に洗練された国として認知されている点です。地上のどこにも、その諜報機関が敵の首都中心に入って、そこにある倉庫の中に入り、12個の巨大金庫の鍵を開け、中身を全て取り出し、陸路、空路、海路を使って密輸した国は、他にはありません。前代未聞です。ところで、3か月前にイスラエルのF-16がガリラヤ上空で撃墜されたのを覚えていますか？（書記注：2月10日）それに関してニュースがあります。イスラエルのF-16を撃墜した、全てのシリア高官たちは、昨日の時点で、72人の乙女はいないことを発見しているはずですが、彼らはもういません。彼らに何かが起こりました。何かあったか、私たちに定かではありません。とにかく、一つ確かなのは、イスラエルを継続して痛めつけようとする、彼らの策略は高度に達しました。皆さんの中には、そこまで至ったことを嘆いておられるかも知れません。しかし、イスラエルを守られる方は、まどろむこともなく、眠ることもないと聖書にはあります（書記注：詩篇121:4参照）。神が、イスラエルを守るために残業しなければならないということは、敵が日夜どれほど頑張っているかが分かるでしょう。だから、イスラエルを守る方は、まどろむことも眠ることもないのです。皆さんはそれについて、考えたことがありますか？神が、イスラエルを守るために眠ることもないというのは、敵が日夜企んでいるからです。

ということで、イランの最も聖なる場所が侵略されたことについて、それから、シリアに置かれていたイランの防空システムが、その直後に破壊されたことについて、そして、イランのドローン計画が、イスラエルによって破壊されたこと、また、イランのミサイルプロジェクトが、先週破壊されたことについてお話ししました。これらが、イランがシリアに地位を確立しようとしている3つの層で、イスラエルは彼らにそれをさせないことを決意しています。

ネタニヤフ首相は、唯一の世界指導者として明後日、モスクワでの軍事行進に参加するよう、ヴラディミール・プーチンに招待を受けました。ナチス・ドイツに対する勝利を祝う行進です。世界指導者の中で、招待されたのは彼がただ一人です。このことから、ロシアが最近のイスラエルについてどう考えているかが、よく分かるでしょう。さらにこの事から分かるのは、ロシアが、我々に話があるから、我々を召喚しているのです。

さて、ここでは戦争は起こっていません。事実、現在は非常に穏やかです。しかし、皆さんに言っておきます。戦争の暗雲が、この地域に近づいています。ただ、イランだけではありません。イランは、単独ではイスラエルに対して戦争を仕掛けません。イランには、それは出来ません。イランには、そんな余裕はないのです。彼らはあちこちで、我々の標的を攻撃するかも知れません。そして、「仕返しをした！」と言うかも知れません。しかしイランは、戦争を始めません。それは、出来ないのです。しかしながら聖書には、イランは、イスラエルに攻めて来る戦争の一員となることが書かれています。ロシアが統率して攻め込んできます。聖書は、実に明確に伝えていて、彼らは北からやって来ます。南のエジプトからではなく、東のヨルダンからでも、西側のどの国からでもなく、北からです。私たちは今、国の最北部にいますから。イラン兵士は、既にここにいて、ロシア兵も既にここにいます。ちなみに、トルコの兵士もシリアにいます。これは、預言者エゼキエルが語っている、連合軍の準備です。私たちは、理解しなければなりません。鉤、ロシュ、ペルシャ、ベテ・トガルマ、全ての材料がここに揃っているのです。全てがこの地域にあります。これらの国が手を組んだことは、地球の歴史上一度もありません。そして彼らが、これほどまでにイスラエルに近づいたことは、地球の歴史上一度もありません。皆さん、理解しなければなりません。私たちは、これまでのどの世代も生きたことのない、前代未聞の時代に生きているのです。そして多く与えられた者は？多く要求されます（ルカ 12:48 参照）。

ここから次に、何故私たちはこんな話をしているのか、そのわけについてお話ししましょう。現在、イランとの戦争は起こっていません。しかし、さらに大きな戦争の雲は、すでに私たちの周りを取り囲んでいます。次に、これらの事が、私たち全員には何を意味しているのか？

ビホールド・イスラエルは報道機関ではありません。私たちはニュースを伝える為に、ここにいるわけではありません。それはテレビを観たり、新聞を読めば良いことです。私たちの目的は、ニュースではありません。私たちの目的は点と点を繋げて、私たちが今、神の時系列のどこにいるのかを全員が理解することです。言っておきますが、神は皆さんに、時と季節を理解してほしいのです。私たちにはその日、その時は分かりませんよ。しかし、私たちが知っているべき事があります。主は、イザヤ書 46 章で語っておられます。

9 …わたしが神である。ほかにはいない。わたしのよな神はいない。

10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事すべてを成し遂げる』と言う。

(イザヤ書 46:9~10)

つまり神は、この地球の終わりを初めから告げられたのです。異なる5つの国から集まって来られた90人の皆さん、アメリカ、カナダ、イギリス、南アフリカ、それにドイツから！実に、様々な国から来られています。それから、アメリカ人の方で、お住まいはパナマでしたか？あ、おられました。セルビア？いましたね！ということは、もっと多くの国から来ているということですね！ワーオ！皆さん、もっと多くの国々です！そして、

ここにいる私たちの全員が、ただ安心安全だと感じているだけでなく、私たちは同じ思いを共感しています。今の時代、今の時は、これまでのこの国の歴史上のどの時代とも違う、我々の国々の歴史上でも同様です。そこで皆さんにお伝えしたいのは、神は私たちに知っておいてほしいのです。私は、この時代に生きている事を「特権」と呼んでいます、——今こそ、私たち信者は、状況の上をいかなければならず、そのために、私たちのすべき事が二つあります。

① 城壁の見張り人となり、人々に、これから起こることを伝えるのです。

② 良い知らせを伝える事です。それから神が

「もう十分だ。今、その時が来た。全人類は、いたるところで悔い改めよ」

と言っておられる事を世に伝え、従事するのです。

すべての人類が、全ての場所で悔い改めなければなりません。そして、私たちは、今こそ、これまでになかったほどに、主の前に正しく生き、私たちの優先順位を入れ替えて、御父の仕事を最優先するべきです。

そして、そちら側（画面の向こう側＝つまり私たち）にいる皆さんも、どうか理解しておいてください。私たちは、現地特派員としてここにいますが、それはただ、ニュースをお伝えするためではありません。私たちは、皆さんに伝える為にここにいます。あなたが、世界中のどこにしようと、神はあなたを愛しておられ、神はあなたを使いたいのです。神はあなたに伝えたいのです。神は、あなたが事実を知って、慰められることを願っておられます。それは、神が完全に支配しておられるだけでなく、今は終わりの時であり、イスラエルの歴史上で、神がその約束を果たされたのと同様に、教会に関する神の約束も、間もなく果たされようとしています。イエスが言われたのです。

3 わたしが行って、…また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3)

私のところには、たぶん一日に50回は、インターネットでメッセージが届いて、

「携挙は聖書的ではない」

と言う人がいます。

皆さん、言っておきますが、この間、私が自分の聖書を読んだ時には、そこに書いてありましたよ。先日、私が自分の聖書を読んだ時、イエスご自身がよみがえりといのちであることについて語っておられ（書記注：ヨハネ 14:6 参照）、そして主ご自身が来て、私たちを彼のもとに迎えてくださる、彼のおられる所に、私たちをもおらせるためだ、と書いてありました。聖書には、彼が降りて来られ、私たちは上り、そして私たちは途中の雲の中で彼にお会いする、そして私たちは、もう決して彼から離れることはない、と告げています（書記注：第一テサロニケ 4:16~17 参照）。私たちは、神の御怒りに会うようには定められていません。また聖書は、こうも告げています。間もなく彼は来て、全世界に来ようとしている試練の時から私たちを守る（書記注：黙示録 3:10 参照）。これは、「それを通して」ではなく、「そこから守る」ということです。またそれは、すでに起こっているというのではなく、これから起こることです。ですから、もう一度聖書を読んでください。皆さんにはぜひ、ヘブル語とギリシャ語の原書を読まれることをお勧めします。そうすれば、あなたにも理解出来るでしょう。彼が来て、私たちを連れて行ってくださる、という期待無しに、私たちにどんな希望がある

でしょう？

聖書は、私たちには祝福された希望がある、と語ります。それは、つまり？

「私たちの救い主であられる、キリスト・イエスの栄光ある現れ」(書記注：第二テモテ 1:10 参照)

これが、私たち信者にある希望です。

信者の希望は、これではありませんよ！これは、悪の世です。今のあれは、神の御国ではありません。

私たちは、神の御国を体験するため、もうすぐ神の臨在に行くのです。そして、この世界で1000年間、彼の御国を創設するために、——私たちは彼と一緒に戻って来ます。その時でさえ、完璧ではありません。完璧になるのは、彼が全てを新しくされたときだけです。新しい天と、新しい地。しかしその時まで、人は罪びとで、悪を企み、盗み、略奪し、殺そうとします。そしてイスラエルは、神の民として、また神が、イスラエルを通して、彼ご自身を全世界に示されるために、他の全世界に代わって、その対価を支払うことになります。

私たちは、第一線にいます。まさに、ここです。ここから1マイル(1.6 km)離れた場所で、現在、人々が集まって、我々に対する戦略を練っているのです。ISISは、ここから5マイル(8 km)離れたところにいます。反乱軍は反対側、ヒズボラはそちらにいます。ロシアの戦闘機が時々、ここからさほど遠くない場所を飛行する音も聞こえて来ます。皆さん、ここからさほど遠くない所で、非常に多くの悪が横行しているのです。それにも関わらず、ここがどれほど平穏であるか、見てください。神の御手がこの場所の上に置かれているのです。それは、私たちが善良だからではありません。それは、彼が真実であられるからです。そして彼が、イスラエルを通して、イスラエルに対して、イスラエルで示しておられるのと同じ真実をもって、皆さんも慰められることを、彼は願っておられます。ですから、どうか皆さん、元気を出してください。これから数日、数週間うちに、イラン協議から撤退する日が迫っています。アメリカの大使館は、私のインスタグラムを見てください。エルサレムの市長が、アメリカ大使館の標識を設置している写真です。間もなく開館します。(拍手)



アメリカ大使館の標識を設置するエルサレム市長

私たちは、これまで夢にも思っていなかったようなことを目にしているのです。神は、今この時、残業して働いておられます。だから私たち、神の民は、それに励ましを得なければなりません。そして私たちは希望を失わず、イスラエルを守られる方は、まどろむことも眠ることもないということを理解しなければなりません。

それから皆さん、もう一つお伝えしたいのは、ここにいる私たち全員が、彼が真実であられることを証明しているのです。考えてみてください。皆さん、実に様々な国、非常に様々な宗教、非常に様々な宗教形態、政治形態から来られました。それでいて、キリストにおいて、一つとなっている私たちを見てください。私たちが

この地に立っているのは、旅行者だからではありません。そうではなく、私たちはイスラエルの聖なる方を信じており、そして間もなく起こる彼の私たちに対する偉大な計画と、この国、この国民に対する偉大な計画を信じているからです。アーメン？

(ツアー客) アーメン！

あなたが世界のどこにしようと、この同じ希望、同じ慰めがあるのです。

聖書には、私たちが携挙について考えるたびに、私たちにはこの言葉をもって、互いに慰め合いなさい、とあります。聖書にはさらに、物事がたとえ、戦争のうわさや、戦争のことを聞いても——ところで、2018年は過去2000年間のどの年よりも、多くの自然災害が予想されているのですよ。そしてこれらは、キリストが終わりの時の特徴として言われたことです。火山噴火、地震、疫病、それから繰り返しますが、戦争のうわさと戦争。それなのに、イスラエルは百花繚乱です！いちじくの木が故国に戻り、私たちはこの地にいます。だから、皆さん理解しておいてください。現在起こっている事の全ては、壮大な計画の一部なのです。仮に敵が、もうすぐイスラエルを滅ぼそうと考えているなら、神には、イスラエルを救うためのさらに壮大なご計画があるのです。そして、これまでの歴史の中で、一度も起こった事のないことを、私たち全員が今日、目撃しています。イスラエルが故国に戻り、エルサレムが私たちの手に戻り、そして私たちの歴史の舞台が、これまでになかったほどに繁栄しているのを見ています。今日、アメリカの会社が、イスラエルの会社を71億ドルで買収しました。モバイルアイが昨年、153億ドルで買い取られたばかりですよ。何十億、何兆ドルという額のビジネスが、人口900万人にも満たない、日夜彼らを滅ぼそうと狙う敵に取り囲まれている国から、広がっているのです。

我々の存在を、論理的に説明することは出来ません。

我々の経済的飛躍を、論理的に説明することは出来ません。

我々の戦争での勝利を、論理的に説明することは出来ません。

モサドの代理が、テヘランの中心部に入り、ずっと隠されていた、彼らの政権最大の機密計画を盗み、それをはるかエルサレムまで持ち帰るなど、論理的に説明することは出来ません。唯一、主、神以外に、それを論理的に説明することは出来ません！あなたが目を閉じて何も見ず、何も聞かないようにしようと思うなら、それでも構いません。それは、あなた次第です。しかし神は動いておられます。

二週間前にも言いましたが、この世で神は、並行して二つの動きをしておられます。

① 世界の情勢

② 私たちの人生

です。預言者によって預言された世界情勢は、起こります。

皆さんが、反キリストが興るのを止めるところを、私も見たいですよ。でも、それは忘れてください。それはなりません。彼は興ります。

皆さんが、エゼキエル戦争を止めるところを、私は見たいですよ。

皆さんが、ハルマゲドンの戦いを止めるところを、私は見たいですよ。

皆さんが、イスラエルに対する憎悪を止めるところを、私は見たいですよ。

でも皆さんには、止められません。

神が、それも協議の一部だと言われたのです。

それは、神が人の心を知っておられるからです。

これらの指導者たちが決断を下す前に、神は、彼らが何を決めるかをご存知です。ただ、これと同時に、別の平行線があって、それが私たちの人生です。そして私たちの人生の中では、私たちが選ぶことを、神は許されます。だから、神は、

19 …あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き…

(申命記 30:19)

と言われるのです。ですから、皆さんが、これら全ての世界情勢を見て、あなたが下す決断によって、これらの世界的出来事が起こる時の、あなたの居場所が決まるのです。

私はいつも言うのですが、イエスが戻って来られ、ゼカリヤ書 14 章にある通り、オリーブ山に主の足が降り立つ時、あなたは、彼と真正面から対面するべきではありません。あなたも、彼の背中を見るべきです。彼の後ろで、馬に乗って、彼と一緒に来るべきです。悪の世を裁きに来られる彼と、真正面から対面するのではなく。

ですから、あなたの今日の決断が、あなたの永遠を決定するのです。

あなたが正しい決断をするために必要な材料は、神が全て与えておられます。

彼は、御言葉を与えてくださいました。

それは、日々の新聞よりもはるかに正確であることが証明されています。

政治家の言葉よりもはるかに信頼でき、世界中のどの諜報機関よりも、はるかに本物です。彼が、彼の御言葉を私たちに与えてくださったのです。彼の御言葉は、

35 この天地は滅び去ります。しかし、わたしのみことばは

何でしたか？

決して滅びることがありません。

(マタイ 24:35)

24 …草はしおれ、花は散る。

25 しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。

(第一ペテロ 1:24b~25a)

7 ある者はいくさ車を誇り、ある者は馬を誇る。しかし、私たちは私たちの神、主の御名を誇ろう。

(詩篇 20:7)

ということで、ゴラン高原の頂上、シリアがすぐ背後に見える場所、非常に穏やかで、非常に見事なこの場所より、私たちから、皆さん全員にお伝えします。

We love you!!!

それからこのメッセージが、あなたにとって伝道になることを願います。ただの政治的な答えではなく、もしくは、状況に関するあなたの興味を満たすだけでなく、あなたの霊に語りかけ、あなたが喜びを感じるまでに引き上げられますように。

パウロは、競走を喜んで走る、と言いました。私たちは、ただ走るのではなく、喜びをもって競走を走り終えるのです。

「元気？」と聞かれて、

(暗い顔をして)「あわれみによって救われてるよ…」

という風にはなりたくないでしょう(笑)。

主の喜びを、力にしたいものです！

アーメン？

(ツアー客) アーメン！

ということで、ゴラン高原の頂上、シリアより2マイル(3.2 km)離れた場所より、ありがとうございます！

God bless you!

最後に、ここにいる皆さんと、そちら側の皆さん全員の上に、アロンの祝福を宣言して、この配信を終わりたいと思います。

ヴェイシェメラー

アドナーイ

イエヴァーレフハー

וְיִשְׁמְרֶךָ

יְהוָה

יְבָרְכֶךָ

..(主が)あなたを守られますように

主が

あなたを祝福し

ヴィーフネツカー

エーレーハー

パーナーヴ

アドナーイ

ヤーエール

וְיִתְנֶךָ

אֵלֶיךָ

פְּנֵי

יְהוָה

יָאֵר

..(主が)あなたを恵まれますように

あなたに(向けて) 御顔を

主が

照らし

シャーローム

レハー

ヴェヤーセーム

エーレーハー

パーナーヴ

アドナーイ

イッサー

שְׁלוֹם

לְךָ

וְיִשֵּׁם

אֵלֶיךָ

פְּנֵי

יְהוָה

יִשָּׂא

平安を

あなたに (主が)賜るように

あなたに(向けて) 御顔を

主が

上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私たちの理解をはるかに超える平安、平和の君が来られた時にのみ与えられる平安、主を信頼する者には、第二テサロニケの最後の節が告げているように、どんな場合にも、いつも平和を与えてくださいます。ですから、このお祈りを、イエスの御名によってお捧げします。全て、神の民は言いましょ。

アーメン！

ありがとうございました。God bless you!

インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブ、ツイッターをフォローしてください。

それから、Behold Isral.org から、週に一度配信しているニュースレターをご登録ください。

ありがとうございます。God bless you!

シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

シリアを背景に：動画より

地中海におけるキプロスの位置：Google Map

ニコシアの位置：Google Map

イスラエル・ギリシャ・キプロス首脳会談：Benjamin Netanyahu のツイッターより「Diplomatic summit in Nicosia, Cyprus, with Cypriot President Nicos Anastasiades and Greek Prime Minister Alexis Tsipras」
2018.5.8

アメリカ大使館の標識を設置するエルサレム市長：Behold Israel のフェイスブックより
「Jerusalem' s mayor is busy today☺」 2018.5.7